

MIHO MUSEUM(滋賀県甲賀市信楽町田代桃谷 300 館長:熊倉功夫)は、2017 年(平成 29 年)9 月 16 日(土)～12 月 17 日(日)までの期間、開館 20 周年記念特別展「桃源郷はここ - I. M. ペイとMIHO MUSEUMの軌跡」を開催いたします。

開館 20 周年 記念 特別 展

桃源郷はここ - I. M. ペイとMIHO MUSEUMの軌跡



図1-1



図1-2 伊藤若冲筆「象と鯨図屏風」(ぞうとくじらずびようぶ)
江戸時代 寛政七年(1795)
紙本墨画 六曲一双 各隻 縦 159.4 横 354.0cm
上:右隻 下:左隻 展示:9/16~10/9

開催概要

◆ 開催主旨

MIHO MUSEUM は、この秋 11 月 3 日に開館 20 周年を迎えます。当館がグランド・オープンした 1997 年は、10 月にフランク・ゲーリー設計のビルバオ・グッゲンハイム美術館（スペイン・ビルバオ）、11 月に I.M.ペイ設計の当館、12 月にリチャード・マイヤー設計の J. ポール・ゲティ美術館（アメリカ・ロサンゼルス）と、著名な建築家が設計した美術館が立て続けにオープンし、世界的に話題となりました。

その一翼を担った当館設計者の I.M.ペイ氏が、今年 4 月に満 100 歳を迎えられたことを寿ぐ意味を込め、「桃源郷はここ — I.M.ペイと MIHO MUSEUM の軌跡」と題して開館 20 周年記念特別展を開催いたします。

本展は、全展示室を使って MIHO コレクションの名品を展示します。北館では、日本古美術を中心に、グランド・オープン以降現在までに新たに収集された作品やお披露目された作品に始まり、徐々に展示替えを行いながら、会期後半にはグランド・オープン時の展示内容を再現し、当時を振り返ります。南館では、エジプト、西アジア、南アジア、中国・西域など、世界の様々な地域、文明から選りすぐった古代美術を紹介します。中国山東省に寄贈した菩薩立像の 5 年ぶりの再来も見どころです。

展示を通して、古代の人々の世界観や美意識、現代の私たちとも共通する美への想いが、浮き彫りとなってくることでしょう。「聖なるもの」「美しきもの」を求めて形成された MIHO コレクションの精粹をどうぞお楽しみください。※会期中展示替えあり

◆ 展覧会名：開館 20 周年記念展

「桃源郷はここ — I.M.ペイと MIHO MUSEUM の軌跡」

◆ 英語タイトル：“20th Anniversary Special Exhibition”

◆ 開催期間：2017 年（平成 29 年）9 月 16 日（土）～ 12 月 17 日（日）

◆ 会場：MIHO MUSEUM

〒529-1814 滋賀県甲賀市信楽町田代桃谷 300

Tel:0748-82-3411 Fax:0748-82-3414 URL <http://miho.jp>

◆ 主催：MIHO MUSEUM、京都新聞

◆ 後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、NHK 大津放送局、BBC びわ湖放送、エフエム京都

◆ 担当学芸員：北館（日本美術）

畑中 章良（MIHO MUSEUM 学芸員）

南館（世界の古代美術）

稲垣 肇（MIHO MUSEUM 学芸員）

◆ 展示構成：北館：日本美術

<陶磁> <仏教美術> <唐絵と大和絵> <漆工芸>

<書> <茶の湯> <近世の美術> <乾山>

南館：世界の古代美術

<エジプト> <西アジア> <南アジア> <中国・西域>

◆ 開館時間：午前 10 時～午後 5 時 【入館は午後 4 時まで】

◆ 休館日：毎月曜日 ※9/18,10/9 日は開館、9/19,10/10 日は休館

◆ 入館料：一般 1,100 円、高・大生 800 円、小・中生 300 円

【20 名以上の団体は各 200 円割引】

◆ 次回予告：2018 年 3 月 10 日（土）～ 6 月 3 日（日）

2018 年春季特別展

「猿楽と面さるがく おもて —大和・近江 および 白山の周辺から—」

開館 20 周年 × I.M.ペイ 100 歳記念 イベント & プログラム

夜間コンサート

「五声が生み出す究極のハーモニー

クラシック・ア・カペラ **A u r a** コンサート」

- 9月22日(金) *入館は10:00より可
*コンサートは18:30～エントランス特設ステージ
- 曲 目 : ユー・レイズ・ミー・アップ
秋 「四季」より/ヴィヴァルディ
相馬盆唄 ほか
- 参加費 : 一般 10,000 円
MIHO MUSEUM 友の会会員 9,000 円
料金には、入館料、コンサート鑑賞、「抹茶と和菓子」、
ご夕食の松花堂弁当「美しの里」、消費税込み
- ご予約・お申込 : 広報担当 TEL.0748-82-3411



子ども向けプログラム

*下記いずれも、参加する子どもと引率者2名まで入館料無料 *要予約(定員になり次第締切)
*お申込は教育普及担当まで TEL 0748-82-8036 FAX 0748-82-2834

「子どものアトリエ」 本物の美術品みてから、じっくり作品作り!

「モザイク画造り」 10月8日(日)、12月10日(日)

「古代アッシリアのレリーフ」 11月26日(日)

- 13:30～16:00 ●小学生対象 ●定員10名 ●材料費500円



「わくわくミュージアム」 美術品の探検ツアーと、ワークショップ!

9月17日(日)/23日(土)/10月14日(土)/29日(日)/11月12日(日)/18日(土)
/12月17日(日)

- 13:00～14:30 ●5歳～高校生(個人・団体) ●定員30名

食のイベント

野外イベント

「ももだにオーガニックマルシェ」

*安全で滋味あふれる野菜、加工品を販売 *飲食多数出店

*稲刈り体験などイベントも開催予定 *少雨決行

- 10月7日(土)/8日(日) 11:00～16:00
- 田代高原の郷 (**MIHO MUSEUM** 隣接)
- 自由にご参加ください ●駐車場あり



フォーラム

「未来へつなぐ種、土、食2017:美しい食を求めて」

出演:

ヴァンダナ・シヴァ ナヴダーニャ財団代表 自然を慈しみ、生命の尊厳を守る活動を展開 世界の農民や環境活動家に大きな影響を与えている

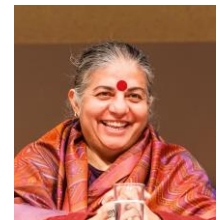
奥田政行 イタリアンレストラン アル・ケッチャーノ オーナーシェフ

地元山形を食文化都市にする活動のほか、世界的に活躍している

熊倉功夫 **MIHO MUSEUM** 館長

コーディネーター: **アリス・カニングハム** (秀明インターナショナル)

- 12月3日(日) 14:00～16:00 ●南レクチャーホール ●参加無料(入館料要)
- 定員100名(要予約)
- お申込: 9/16日受付開始 イベント予約担当まで TEL 0748-82-3411



とっておき美術公開講座

学芸員による解説とギャラリートーク

「MIHO MUSEUM コレクション 古代オリエント美術を中心に」 稲垣肇学芸員

9月23日(土・祝) / 10月14日(土) / 11月11日(土)

「MIHO MUSEUM の日本美術について」 畑中章良学芸員

10月7日(土) / 11月18日(土)

- いずれも 14:00～15:30
- 予約不要：当日南レクチャーホールへお越しください
- 参加無料（入館料要）

記念日スペシャル

* 下記いずれも要予約 * 参加無料（入館料要）

* お申込：9/16日受付開始 イベント予約担当まで TEL 0748-82-3411

講演会

「日本人の桃源郷」

講師：熊倉功夫（MIHO MUSEUM 館長）

- 11月3日(金・祝) 13:30～15:00
- 南レクチャーホール
- 定員100名

建築ガイドツアー

「MIHO MUSEUM にみる現代建築の巨匠 I.M.ペイ建築の神髄」

講師：佐藤修（紀萌館設計室）

I.M.ペイのアソシエイト・アーキテクトとして MIHO MUSEUM の実施設計を担当

MIHO 建設の全貌を知る建築家が、そのエッセンスを専門解説するまたとないツアー

- 11月4日(土) 13:30～15:30
- レセプション棟前集合にてツアー
- 定員50名



対談

「美術館と建築」

話し手：磯崎新（建築家）

藤森照信（建築家、東京都江戸東京博物館館長）

案内役：熊倉功夫（MIHO MUSEUM 館長）

- 11月5日(日) 13:30～15:00
- 南レクチャーホール ● 定員100名

特別見学

「もうひとつのペイ建築 “MIHO チャペル” 見学」

I.M.ペイが日本で設計を手掛けた3建築のひとつ、

MIHO 美学院中等教育学校の礼拝堂を特別見学

- 11月3日(金・祝)、4日(土)、5日(日)
- いずれも 15:30～16:30

● MIHO MUSEUM エントランス集合・

解散 無料送迎バスにて往復

- 定員各20名



代表作品

報道関係で掲載作品の画像データをご入用の場合、下記までご一報ください。
MIHO MUSEUM 広報担当 TEL.0748-82-3411

北館

※ 所蔵先表記のないものはすべて MIHO MUSEUM 蔵



図2-2



図2-1 重要文化財「耀変天目」
(ようへんてんもく)

南宋時代 12-13世紀 建窯
高 6.5~6.6 口径 11.8~12.1 高台径 3.9cm
加賀・前田家伝来 大佛次郎旧蔵
展示:全期間



図3-1

図3-2 重要文化財「持国天立像」(じこくてんりゅうぞう)
平安時代末-鎌倉時代初 12世紀 木造彩色
像高 170.7cm 興福寺伝来 益田鈍翁旧蔵
展示:全期間



図4 重要文化財「地藏菩薩立像」
(じぞうぼさつりゅうぞう)

鎌倉時代 13世紀
木造(桧、寄木造)彩色、玉眼、截金
総高 73.5 幅 32.3 像高 52.4cm
展示:全期間

※胎内から発見された「印仏」「供養札」などを同時初公開



図5 重要文化財「焰摩天像」
 (えんまてんぞう)
 平安時代 12世紀 絹本着色
 縦 155.8 横 84.5cm
 室生寺伝来 原三溪(富太郎)旧蔵
 展示:10/31~11/12

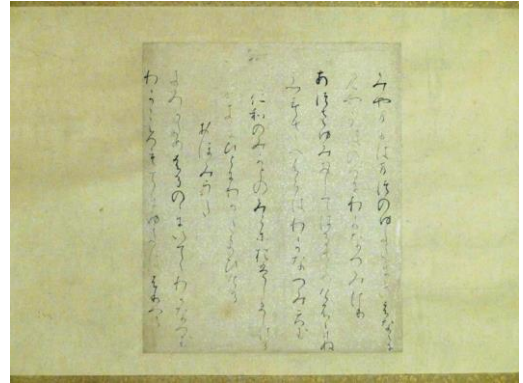


図6 「高野切 第一種」
 (こうやぎれ だいいっしゅ) 伝紀貫之筆
 平安時代 11世紀
 彩箋墨書 縦 25.7 横 21.6cm
 展示:9/16~10/29 ※初公開

図7 「大燈国師墨蹟 法語」
 (だいてうこくしほくせき ほうご)
 鎌倉時代末 14世紀/元徳二年(1330)
 紙本墨書 縦 34.2 横 81.7cm
 展示:9/16~10/9

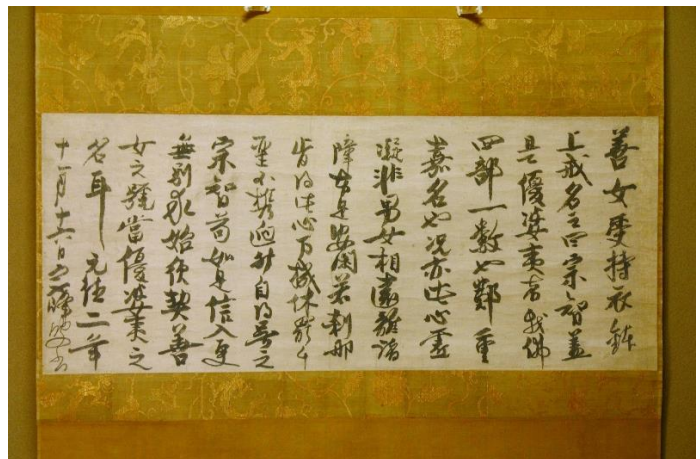


図8 「井戸茶碗(少庵井戸)」
 (いどちやわん しょうあんいど) 利休所持
 朝鮮王朝時代 16世紀
 高 6.2 径 15.0cm
 展示:9/16~10/29



図9-2

図9-1 伊藤若冲筆「白梅錦鶏図」
(はくばいきんけいず)
江戸時代 18世紀
絹本着色 一幅 縦 139.8 横 84.7cm
展示:10/11~10/29

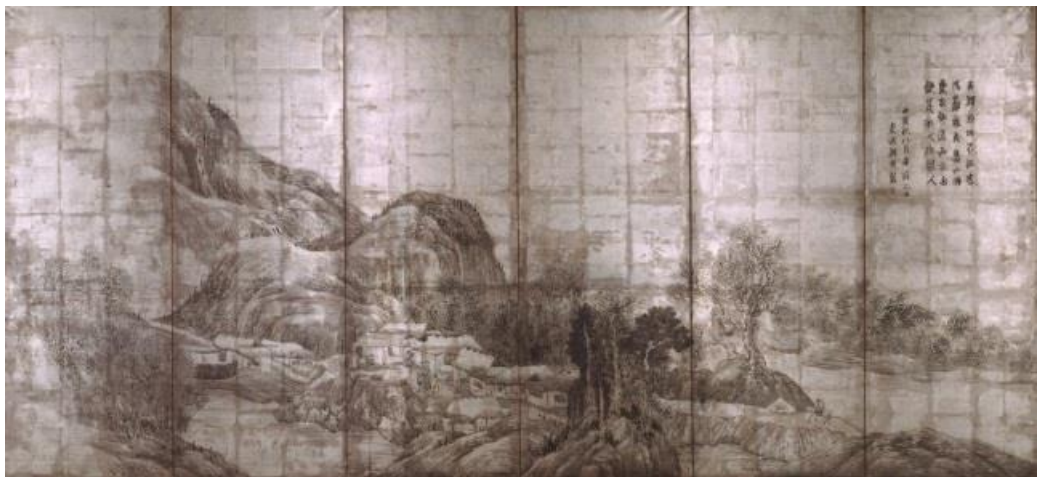


図10-1



図10-2 与謝蕪村筆「銀地山水図屏風」(ぎんじさんすいずびょうぶ)
江戸時代 天明二年(1782) 紙本銀地墨画淡彩 六曲一双
各隻 縦 166.9 横 363.7cm 上:右隻 下:左隻 展示:11/28~12/17



図 101 「隼頭神像」(じゅんとうしんぞう)
エジプト 第 19 王朝初期 B.C.1295-B.C.1213 年頃
銀、金、ラピスラズリ、水晶、エジブシャン・ブルー
高 41.9cm

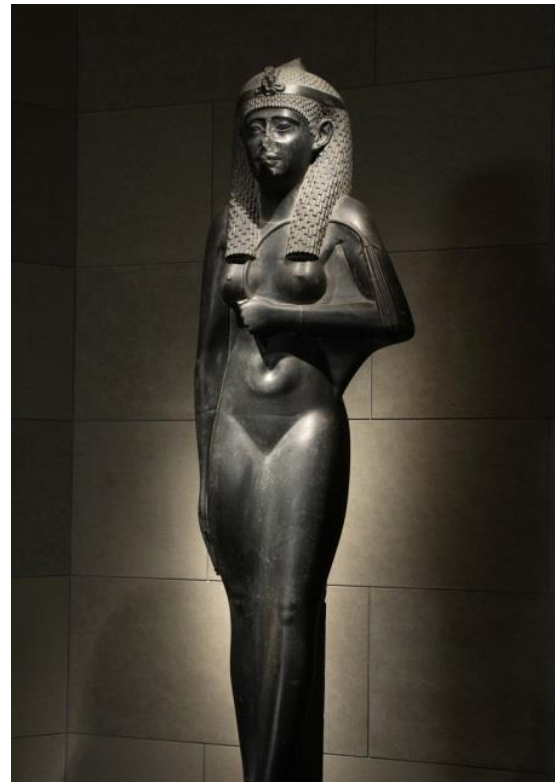


図 102 「アルシノエ 2 世像」(あるしのえにせいぞう)
エジプト プトレマイオス朝 B.C.270-B.C.246 頃
花崗岩性閃緑岩 高 159.5 幅 50.0cm



図 103 「精霊と従者浮彫」(せいれいとじゅうしやうきぼり)
イラク北東部 ニムルド北西宮殿 アッシリア B.C.883-B.C.859
石灰岩 高 110.5 幅 183.0 厚 6.4-9.6cm

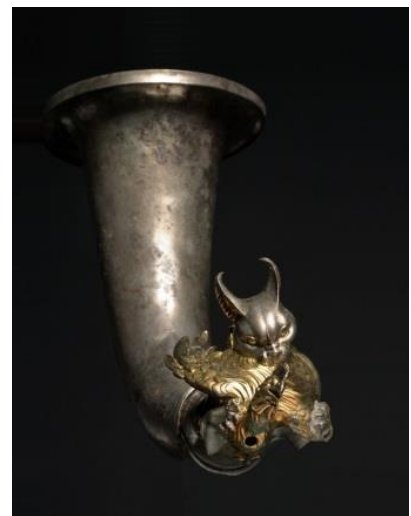


図 104 「大山猫と鶏形リュトン」(おおやまねことにわとりがたりゆとん)
イランまたは中央アジア B.C.2 世紀-B.C.1 世紀
銀鍍金 高 27.0 径 15.2-15.4 長 41.4cm



図 105 「庭園図」(ていえんず)
ローマ 1 世紀
フレスコ 縦 139.7-162.9cm

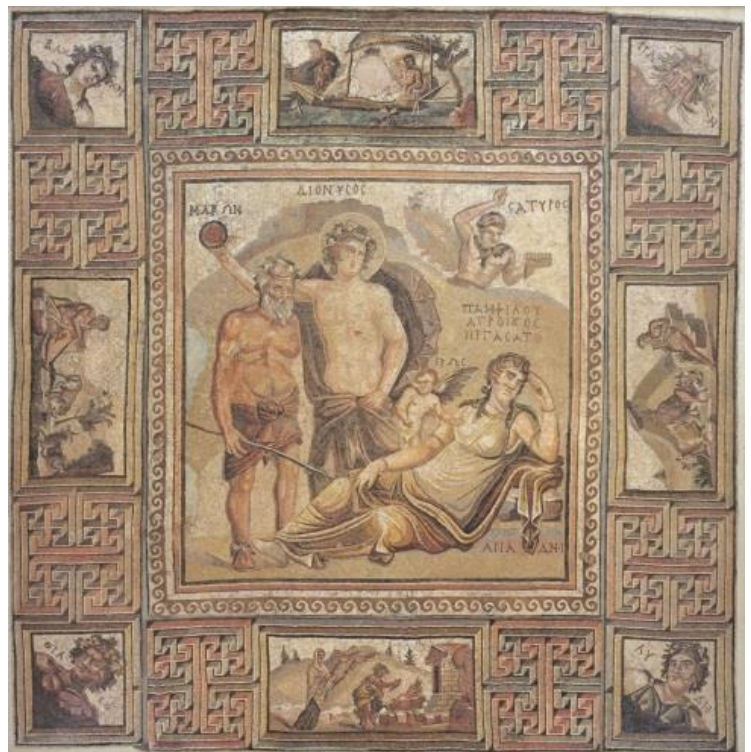


図 106 「ディオニュソス・モザイク」
ローマ 伝シリア出土 3-4 世紀
石の小片 縦 352.0 横 357.0cm

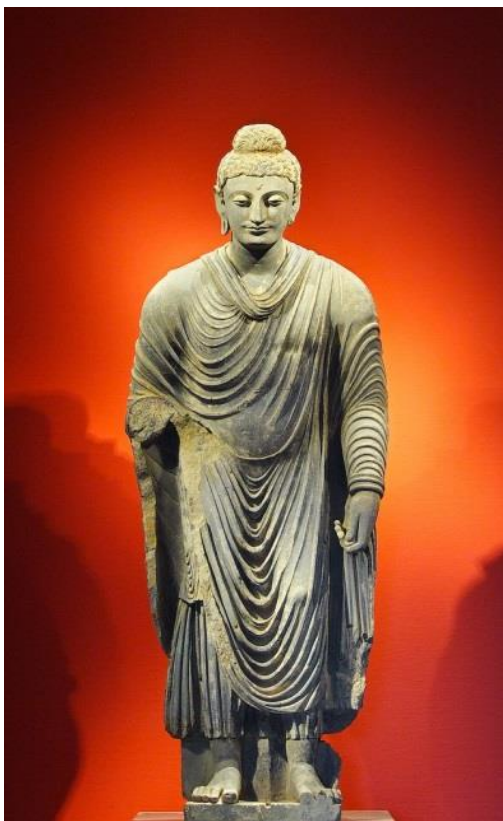


図 107 「仏立像」
(ぶつりゆうぞう)
中央アジア ガンダーラ
2 世紀後半期
片岩 高 250.0cm



図 108 「燃燈仏授記図浮彫」
(ねんとうぶつじゆきずうきぼり)
中央アジア ガンダーラ 3-5 世紀
片岩 高 69.3 幅 60.0cm



図 109-1 「蟬冠菩薩像」(たんかんぼさつぞう)
中国 東魏 534~550年 博興龍華寺遺址出土
高 120.5cm 中国・山東博物館蔵



図 110 「鏡鐘」(どうしょう)
中国 長江下流地域 B.C.1400-B.C.1000
青銅 高 73.4 幅 50 奥行 34.8cm



図 111 「青銅馬」(せいどうば)
中国 後漢 1-3世紀 青銅に着色
高 124.0 幅 28.5 長 113.0cm

図 112 「メダイオン・動物文絨毯
(サングスコ・カーペット)」
(めだいよんどうぶつもんじゅうたん)
イラン ケルマーン サファヴィー朝時代
16世紀末期-17世紀初期
羊毛、綿 縦 594.3 横 320.0cm

MIHO MUSEUM について

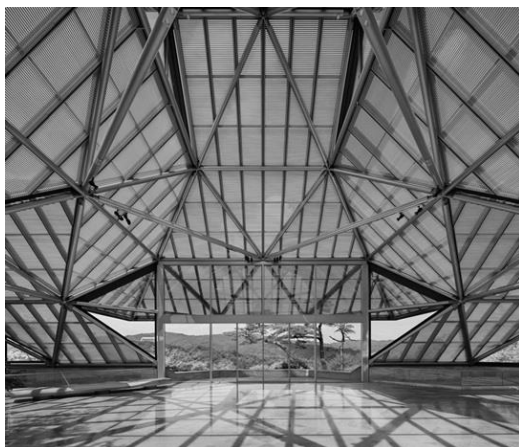
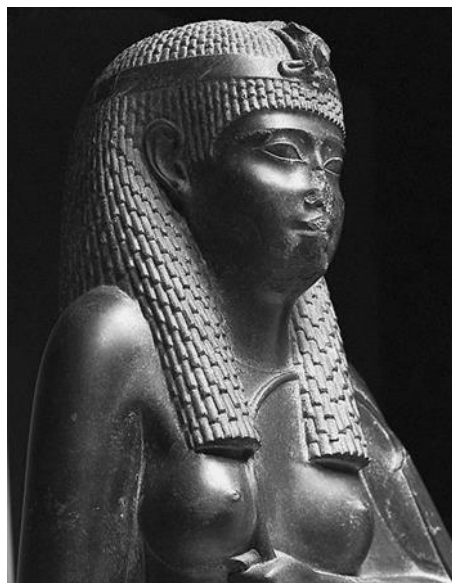


- **MIHO MUSEUM** は 1997 年 11 月に、琵琶湖の南、自然豊かで風光明媚な湖南アルプスの山中に誕生しました。

建築設計は、フランス・ルーヴル美術館のガラスのピラミッド、ワシントンのナショナルギャラリー東館、北京、香港の中国銀行ビル等で世界的に知られる I.M.Pei 氏によるものです。設計のテーマは「桃源郷」、東晋の詩人、陶淵明の「桃花源記」にある仙境の楽園—桃源郷の物語を、構想・設計・建設に 6 年の歳月をかけて、信楽の地に実現したのです。

- 所蔵品は、エジプト、ギリシア・ローマ、西アジア、中央アジア、南アジア、中国、朝鮮、古代アメリカなどの古代美術と、仏教美術や、茶道美術をはじめ、絵画、漆工、陶磁器などの日本古美術をあわせて、約 2,000 件からなり、季節により国内外からの出陳を加えて、常時 250~500 点を展示しています。

その質の高いコレクションは、ニューヨーク・メトロポリタン美術館、ロサンゼルス・カウンティ美術館、オーストリア・ウィーン美術史美術館、オランダ・ライデン国立古代博物館などで公開され、海外からも高く評価されています。



- 美術館棟は「自然と建物と美術品」「伝統と現代」「東洋と西洋」の融合をテーマに、建築容積の 80%以上を地中に埋設し、建物の上にも自然を復元しています。幾何学模様が織りなすガラス屋根からは、明るい太陽の光が降り注ぎ、訪れる人をやさしく包み込んでくれます。

- 施設としては、2つのホール、オリジナルグッズをそろえた3つのショップ、無肥料・無農薬の厳選された食材を使用したレストランと、喫茶各1店舗があります。レストラン別室では、団体様用の昼食も提供しています。

MIHO MUSEUM は 30 万坪の敷地に、信楽の大自然、建築、美術品、すべてが融合した感動の空間です。





トンネルから望む美術館棟

報道関係者の本件に関するお問い合わせ先

MIHO MUSEUM 学芸部 広報担当
TEL. 0748-82-3452 FAX. 0748-82-3414
〒529-1814 滋賀県甲賀市信楽町田代桃谷 300
ホームページ URL <http://miho.jp>

*****一般の方のお問い合わせ先*****

MIHO MUSEUM (ミホ・ミュージアム)
〒529-1814 滋賀県甲賀市信楽町田代桃谷 300
TEL.0748-82-3411 FAX.0748-82-3414
URL. <http://miho.jp>